

令和4年度（2022年度）

管理事業名	自然体験交流センター事業			総合計画 の体系	大綱 4	子育て・学び	
					政策 3	青少年がすこやかに育つまちづくり	
					施策 1	青少年の健全育成	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 5	自然体験交流センター費
部局名	地域教育部	予算執行 所属	青少年室				
事業の目的と概要 【目的】青少年に集団での生活を通じて自然と共生し、あらゆる生物の命の尊さを体感する場を提供するとともに、市民に自然を生かした生涯学習及び交流の場を提供し、青少年の社会性及び豊かな人間性を育むことを目的としている。 【概要】幼児から高齢者まであらゆる世代の市民が、自然の中でリフレッシュしながら自然体験活動や生涯学習の場として活動するとともに、交流の場として利用できるよう、施設の管理運営を行う。							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
利用者数	人	11,688	15,862	30,208	年間の自然体験交流センターの利用者数(延べ)
利用団体数	団体	404	543	738	年間の利用団体数
利用率	%	71.5	87.7	92.2	※令和5年度行政評価から追加 年間開所日数に対する利用日数の割合
使用料収入	円	1,990,930	2,198,150	4,497,440	※令和5年度行政評価から追加 使用料の収入実績

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】 ・利用者数30,208人（前年度比：14,346人の増）</p> <p>【成果指標2】 ・利用団体数738団体（前年度比：195団体の増）</p> <p>【成果指標3】 ・利用率92.2%（前年度比：4.5%の増）</p> <p>【成果指標4】 ・使用料収入4,497,440円（前年度比：2,299,290円の増）</p> <p>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、キャンプサイトの人数制限により、3密を避けるなどの対応を行った。 ・利用者数、利用団体数、利用率、使用料収入の増は、令和3年度と比較し施設の利用に関して制限緩和・解除の動きがあったことから、利用者の施設利用が増加したことによるもの。 ・年度後半は、基本的な感染症対策は継続しつつ、利用者数の制限を解除したことで、一斉合同防災訓練やチャレンジデーなどの大型の公用事業や主催事業も実施できたため、昨年度と比較して利用者が増えた。 ・ただし、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の要請等による施設利用の制限継続のため、令和元年度の水準（45,510人）までには未到達。</p>	<p>【財務情報に基づいた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽化比率が1.3ポイント上昇（39.6%→40.9%） 主な施設整備として、多目的ホール、便所、シャワー棟の外壁補修工事を行ったが、施設全体の老朽化は進んでいるので、今後も補修を進めていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら昨年度より開館日数を増加させたことにより、施設の使用料が増加し、受益者負担比率が1.8ポイント上昇（2.0%→3.8%）
--	---

III 課題と今後の取組

<p>令和4年度は前年度と比較し利用人数及び使用料収入は増加しているが、今後ピーク時の水準に利用を回復させる必要がある。 青少年の社会性及び豊かな人間性を育むため、市内幼稚園や小・中学校の利用が増える様にプログラムを含めて、園、学校に広報する。 計画的に維持補修をすることで施設の魅力をさらに向上させるとともに、市と指定管理者が定期的に協議を行うことにより、普段から十分なコミュニケーションを取りながら、より一層の市民サービスの向上とより良い施設運営を目指す。</p>	
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【B/S】

(単位:千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	116	387	272
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	116	387	272
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	645,187	639,392	△5,795	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	1,160	3,494	2,334
建物・工作物	645,187	639,392	△5,795	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	1,160	3,494	2,334
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	1,276	3,882	2,606
建物・工作物	-	-	-	純資産	643,911	635,510	△8,401
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	643,911	635,510	△8,401
資産の部合計	645,187	639,392	△5,795	負債及び純資産の部合計	645,187	639,392	△5,795

◆行政コスト計算書【P/L】

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	1,991	2,198	4,497	2,299
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	309	309	71	△238
経常収入 小計(a)	2,300	2,507	4,568	2,061
給与関係費	1,513	1,506	4,383	2,877
物件費	81,496	84,607	87,627	3,020
維持補修費	1,577	2,728	2,104	△624
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	20,617	20,617	19,788	△829
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	131	116	387	272
退職手当引当金繰入額	△7,882	71	2,644	2,573
支払利息	15	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	97,468	109,646	116,934	7,288
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△95,168	△107,139	△112,365	△5,227
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△95,168	△107,139	△112,365	△5,227
一般財源充当額	86,613	86,564	103,964	17,401
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△8,555	△20,575	△8,401	12,174

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【C/F】

(単位:千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,300	2,507	4,568	2,061
行政サービス活動支出	87,369	89,071	94,540	5,469
行政サービス活動収支差額	△85,069	△86,564	△89,971	△3,408
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	13,993	13,993
投資活動収支差額	-	-	△13,993	△13,993
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	1,544	-	-	-
財務活動収支差額	△1,544	-	-	-
収支差額 合計	△86,613	△86,564	△103,964	△17,401
一般財源充当額	86,613	86,564	103,964	17,401
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【PL】 使用料及び手数料	利用者数が増えたことによる使用料収入2,299千円の増
【CF】 投資活動支出	外壁改修工事13,993千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者1人	コスト 8,339円	6,912円	3,871円
	実績 11,688人	15,862人	30,208人
開所日1日	コスト 338,430円	375,500円	365,419円
	実績 288日	292日	320日

自然体験交流センター利用者1人当たり3,871円のコストがかかっている。経常費用は増加したものの、利用者増加により、前年に比べて3,041円減少している。
内 自然体験交流センター1館で1日当たり365,419円のコストがかかっている。経常費用は増加したものの、開所日増加により、前年に比べて10,081円減少している。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	7,415	98	0.6
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	7,415	-	-

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		37.7	39.6	40.9	1.3
施設維持補修費比率		0.1	0.3	0.2	△0.1
経常費用対公共資産比率		9.1	10.3	10.8	0.5
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		2.0	2.0	3.8	1.8
一般財源充当比率		97.4	97.2	95.8	△1.4